

第2学年 特別の教科「道徳科」年間指導計画

- 1 中堅学年として自主的自律的に行動するとともに、個性を伸ばして充実した生き方を求めるようにする。
- 2 他の人々に対して敬愛の念を深め、思いやりの心をもって生活するようにする。
- 3 相手の個性や立場を尊重するとともに、男女は協力して互いに高め合うようにする。
- 4 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重するとともに、自然との関わりを深めるようにする。
- 5 勤労の尊さについて理解するとともに、社会への奉仕と公共の福祉のために尽くすようにする。
- 6 国際社会の一員としての自覚を深め、世界の平和と人類の幸福に役立つ人になるようにする。

月	週	主題名	教材名	内容項目	ねらい	評価の観点	関連行事等
1	4	1 良好な関係を目指して	1 あいさつ	B(7) 礼儀	○あいさつや礼儀の意義について理解することを通して、時と場に応じて主体的に適切な言葉遣いや行動を取ろうとする意欲や態度を育てる。	あいさつや礼儀の意義について考え、理解を深めている。	始業式 入学式
2	4	2 生活習慣を見直そう	2 ばなしの女王	A(2) 節度、節制	○自分の生活習慣を見直し、望ましい生活習慣を身に付けることのよさに気づき、節度のある生活を心がけようとする態度を育てる。	望ましい生活習慣を身に付けることのよさに気づき、自分の生活を考えている。	歓迎行事
3	4	3 より良い社会を目指して	3 住みよい社会に	C(12) 社会参画、公共の精神	○誰もが安心して生活できる社会について考えることを通して、よりよい社会の実現に努める心情と態度を育てる。	よりよい社会を創っていくために大切なことについて考えている。	
4	5	1 いじめのない世界へ(1)	4 私のせいじゃない	C(11) 公正、公平、社会正義	○泣いている子と周りの子たちの気持ちを考えることを通して、差別のない社会を創ろうとする心情を育てる。	各々の子の気持ちを考えることで、問題点に気づいている。	
5	5	2 いじめのない世界へ(2)	5 あの子のランドセル	A(1) 自主、自律、自由と責任	○過去の自分の行動に心を痛める主人公の気持ちに寄り添い、自分の行動に責任をもとうとする心情を養う。	過去の自分の行動に心を痛める主人公の姿に共感している。	生徒総会
6	5	3 例えば君なら	12 許さない心	C(10) 遵法精神、公德心	○祭りの場面での中学生、高校生の行動に対する作者の意見を踏まえ、決まりや規則の意義を理解し、守ろうとする心情を養う。	作者の意見を基に、決まりや規則について多面的・多角的に考えている。	
7	6	1 いのちを考える(1)	26 奇跡の一週間	D(19) 生命の尊さ	○「いつか終わりがくるいのち」を通して、限りある生命を輝かせて生きていこうとする心情を育てる。	話し合い活動を通して、死と向き合うからこそ見えてくる生命の輝きに気づいている。	いのちを見つめる日
8	6	1 いのちを考える(2)	27 妹に	D(19) 生命の尊さ	○生命のつながりや関わり合いを通して、かけがえのない生命を大切にしていこうとする心情を育てる。	妹の誕生を通して抱くさまざまな思いを通して、かけがえのない生命を大切にしていこうとする気持ちに共感している。	道徳公開授業 平和学習
9	6	2 あきらめない気持ちで	7 左手でつかんだ音楽	A(4) 希望と勇気、克己と強い意志	○息子から贈られた楽譜をきっかけに再起を果たすまでの館野さんの苦悩と希望について考えることを通して、困難や失敗を乗り越えて夢や理想を実現していこうとする意欲を養う。	館野さんの思いに共感しながら、自己の夢や理想をもつことの大切さと、それらを実現するために必要な姿勢について考えている。	市中学校体育大会
10	6	3 歩調を合わせて	8 遠足で学んだこと	B(9) 相互理解、寛容	○自分の考えを相手に伝えるとともに、互いのもつ異なる個性や立場を尊重し、寛容の心をもって相手の生き方に謙虚に学ぼうとする態度を育てる。	自分の考えを相手に伝えるとともに、互いのもつ異なる個性や立場を理解して、認め合い、相手のよさから学ぼうとする謙虚さが大切であることに気づいている。	
11	7	1 いのちを考える(2)	三つのいのちについて考える	D(19) 生命の尊さ	○互いに意見を述べ合うことを通して、いのちの「有限性・連続性・偶然性」について考え、生命を大切にしていこうとする態度を育てる。	互いの意見を共有しながら、有限性、連続性、偶然性の「三つのいのち」について考えを深めている。	

12	7	2	郷土の魅力にふれて	11 祭りの夜	C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	○地域社会の一員としての自覚をもち、地域の文化や伝統の良さに気づく「私」の心情に寄り添うことで、郷土に主体的に関わり、その発展に努めようとする心情を養う。	ふるさとに生きる一員として、更にそのよさを知り、主体的に関わっていこうとする「私」に共感し、自分の考え方を明確にしている。	前期前半終了
13	9	1	いじめのない世界へ(2)	どんなことでも相談し合える仲間	※複数内容項目	○クラスの人を理解する活動を通じて、他者理解や友情を深めたり、よりよいクラスを作ろうとしたりする意欲を養う。	活動から、自分なりの観点でよりよく生きようとする思いを深めている。	後期後半開始 体育大会
14	9	2	例えば君なら	「決まり」を守る社会を創るために、あなたにもできること	C(10) 遵法精神、公德心	○たばこについて注意する、注意される中学生を役割演技することを通して、規律ある安定した社会の実現に努めようとする心情を養う。	役割演技をすることで、規律ある安定した社会について意識を向けている。	
15	9	3	誇りを胸に	16 四十七年に感謝をこめて	C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	○校舎を愛する気持ちから、学校行事で心をつなぐみんなの様子に共感することを通して、協力し合って学校生活を充実させようとする態度を育てる。	学校に対するみんなの気持ちに共感し、自分の学校生活について思いを巡らせている。	後期始業式
16	9	4	本当の友情とは	17 みんなでとんだ!	B(8) 友情、信頼	○本当の意味で団結するには何が大切かを多様な視点で悩むことで互いを理解しようとし、全員の幸福を思って助け合い、友情を深めようとする意欲を育てる。	多様な考えに触れるなかで、互いを尊重し、励まし合い、高め合うことで得られた深い友情に気づいている。	校内音楽発表会
17	10	1	相手の立場で	15 なみだ	B(9) 相互理解、寛容	○作者の気持ちの変容を見ることを通じて、相手の立場を理解し、広い心をもって接するとともに、自分の在り方を反省し、向上に努めようとする心情を育てる。	相手の立場を理解して自分の在り方を反省し、相手を思いやろうとする作者の気持ちに共感している。	市駅伝大会 前期終業式
18	10	2	だれがために働く	18 震災の中で	C(13) 勤労	○勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献しようとする態度を育てる。	自分の体験や友達の意見から、労働の意義を考えている。	後期始業式 職場体験
19	10	3	だれがために働く	お弁当のことで文句を言われた場面をやってみよう	C(13) 勤労	○ボランティア活動の場面で役割演技することを通して、勤労を通じて社会に貢献しようとする態度を育てる。	お弁当を配る場面で、それぞれの人がどうすればよかったのか、考えている。	職場体験
20	10	4	「和食」の良さってなんだろう	13 心でいただく伝統の味	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	○日本の伝統や文化のすばらしさに気づき、日本を愛しこの国をよりよくしようとする実践意欲を育てる。	日本の伝統や文化のすばらしさに気づき、更に良くしていこうという意識を高めている。	
21	11	1	垣根をこえて	19 六千人の命のビザ	C(18) 国際理解、国際貢献	○世界の中の日本人として、人類愛の精神に基づき、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする心情を育てる。	国際的視野に立ち、人類愛の精神に基づき行動する杉原さんの姿に共感している。	
22	11	2	真実を求め続けて	20 赤土の中の真実	A(5) 真理の探究、創造	○真実を見極めようと、精励し続けた相沢さんの生き方に共感し、真実を求め、諦めずに努力をしていこうという意欲を育む。	真実を求めようと精励する相沢さんの生き方に共感し、諦めずに努力しようという思いが高まっている。	

23	11	3	情報モラルと友情	6 ゴール	B(8) 友情, 信頼	○感情的なすれ違いを乗り越えながら友達同士励まし合い、高め合おうとする主人公たちの姿を通して、友情を深めようとする心情を養う。	真の友情を築くために必要なことについて、考えを深めている。	
24	11	4	たがいに支え合う社会	21 今度 は私の番だ	C(12) 社会参画, 公共の精神	○故郷の人たちの悲しみ、苦労などに対して、自分の役割を自覚して活動した真海さんの姿を通して、社会連帯の意識をもとうとする意欲を育てる。	自らの体験も踏まえ、被災した人たちに対して様々な活動をした真海さんの思いに共感している。	人権集会 生徒会選挙
25	12	1	人間の強さ・気高さ	23 人間の強さ・ 気高さ	D(22) よりよく 生きる喜び	○トップアスリートでさえも、弱い心をもっていることに共感することを通して、人として誇りをもって気高く生きていこうとする心情を育てる。	誰もがもっている弱さや醜さを克服し、人として誇りをもって気高く生きていこうとするエイミーの姿に、共感している。	後期前半終了
26	12	2	日本の心にふれる	24 大切なものは何?	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	○日本の伝統、文化や国を愛する心を考えることから、日本の発展に努めようとする心情を養う。	多様な文章から、日本の伝統、文化や国を愛する心について考えている。	
27	1	1	人間の強さ・気高さ	23 本当の私	D(22) よりよく 生きる喜び	○前時の学習でのエイミーの弱さ、醜さを克服した誇り高い生き方を踏まえ、同じような状況になったときの自分の在り方を考えることを通して、人として誇りをもって気高く生きていこうとする心情を育てる。	人間の弱さ、醜さが表れる場面を想定し、その際の自分のありたい姿を考えている。	後期後半開始
28	1	2	気持ちをこめて	25 心に寄りそう	B(6) 思いやり, 感謝	○失敗から学ぶ山田さんの姿を通して、お互いの立場を尊重し合い、誰に対しても思いやりの心を大切にして接しようとする態度を養う。	「相手の心に寄りそう」ことを大切にしている山田さんの生き方に共感し、思いやりについて、自分のこととして考えを深めている。	
29	1	3	安全につながる日常の大切さ	14 田老の生徒が伝えたもの	A(2) 節度, 節制	○東日本大震災の際の生徒の行動を理解することを通して、安全で調和のある生活を送ろうとする態度を育てる。	震災時の田老第一中学校の生徒の対応から、日常生活の中で学ぶべきことを考えている。	
30	2	1	「今」を生きる私のために	10 私は十四歳	A(3) 向上心, 個性の伸長	○不安や悩みを乗り越え、自分らしい生き方を模索していく作者の姿を通して、自己を見つめ、自分の良さを生かし伸ばしていく充実した生き方をしようとする道徳的实践意欲を育てる。	自分を見つめ、自分の良さを生かし、さらに伸ばしていくために、前向きに取り組もうとする意識を高めている。	
31	2	2	郷土の魅力にふれて	11 祭りの夜	C(16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	○地域社会の一員としての自覚をもち、地域の文化や伝統の良さに気づく「私」の心情に寄り添うことで、郷土に主体的に関わり、その発展に努めようとする心情を養う。	ふるさとに生きる一員として、更にそのよさを知り、主体的に関わっていこうとする「私」に共感し、自分の考え方を明確にしている。	
32	2	3	支え合いの中で	28 愛	B(6) 思いやり, 感謝	○おじさんに対して感謝の気持ちで過ごしていこうとする主人公の姿に共感することで、思いやりの根底には人間尊重の精神があることを理解し、共に助け合い、協力し合って生きていこうとする心情を育てる。	おじさんの思いやりとそれに応えたいと考える主人公の心情に共感している。	
33	2	4	敬意をもって自然と接する	22 夜は人間以外のものの時間	D(21) 感動, 畏敬の念	○美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念に触れ、心情を養う。	筆者の考えに触れ、自分の思いを深めている。	

34	3	1	思いを形に	29 ごめんね、おばあちゃん	C(14) 家族愛、 家庭生活 の充実	○家族の深い愛情によって育てられたことに感謝し、より充実した家庭生活を築こうとする意欲や態度を育てる。	主人公に自分を重ね、祖母の無私の愛情への理解を深め、家族の一員としての自己の在り方について考えている。	
35	3	2	自然環境に優しく	30 冬の使者「マガン」	D(20) 自然愛護	○自然と人間との関わりについて考え、その連続性や有限性、自然の崇高さを知り、自ら進んで自然環境の保全に努めようとする態度を育てる。	自然や身の回りの環境を見つめ、自然を守るために積極的に関わっていこうとする思いを深めている。	卒業証書授与式 修了式
付録1			誠意をもって	金語楼さんのこと	A(1) 自主、自律、自由と責任	○私利私欲を交えず、真心を込めて具体的な行為を行う金語楼さんの姿を通じて、自らの意志や判断で行動する責任と生きる自信を育もうとする心情を養う。	体調を崩しながらもスケジュールを調整し、自分の意志で慰問活動続ける金語楼さんの姿に共感している。	
付録2			よりよい社会のために	宝塚方面行きー西宮北口駅	C(10) 遵法精神、公德心	○自分の利害と多くの人々の利害との葛藤の中で、公共の場での振る舞いを考えようとする意欲を育てる。	友人関係と社会での人間関係との間で葛藤しつつ、公共の場での振る舞いについて、自分自身の体験を踏まえながら考えている。	
付録3			勤労から得られるものとは	我、ここに生きる	C(13) 勤労	○霧多布にとどまって診察を続けようとした道下医師の生き方を通して、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする道徳的实践意欲を養う。	道下医師の葛藤や決心に共感し、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする思いを深めている。	
付録4			支え合って力強く生きる	書かれなかった遺書	D(19) 生命の尊さ	○生命の尊さについて理解を深め、かけがえのない自他の生命を大切にしようとする心情を深める。	自らの悲しみを乗り越えて他の人を励ます母親の姿に共感し、力強く生きぬいていこうとする気持ちを高めている。	
付録5			気高い生き方を求めて	良心とたたかい	D(22) よりよく生きる喜び	○自分の中に潜む弱さや醜さ、不誠実な感情を克服する主人公の姿に共通し、人として正義や真実を希求しながら生きていこうとする心情を育てる。	自分の中に潜む弱さや醜さ、不誠実な感情を克服し、良心の下、人として正義や真実を希求しながら生きる主人公の姿に共感している。	

部については、付録との差し替えが可能です。